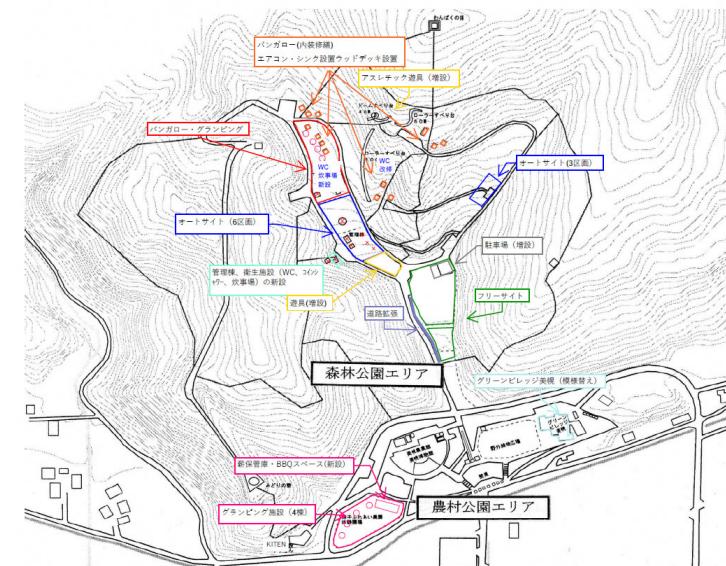


# 事業概要【美幌みどりの村再整備による滞在型観光推進事業】

拠点当初

申請者	北海道美幌町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	997,953千円 (52,239千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野
目的 (効果)	本町における滞在型観光の拠点として、「美幌みどりの村」エリア一帯を再整備してエリアの価値向上に取り組み、地域資源を活用した新たな客層誘致を行うとともに、ワーケーションなど中長期的に滞在できる環境整備等の取り組みにより、観光振興の強化による地域経済の好循環や地域産業の活性化へ繋げ、更なる観光誘客と交流人口、関係人口の増加を図る。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>新たな観光ニーズに合致した小規模グループ／家族層、また都市部からのワーケーション利用客をターゲットに美幌みどりの村一帯を滞在型観光拠点として以下の内容を整備し、地域における観光消費額の向上を図る。</p> <p>オンラインツールを用いた予約システムにより混雑の緩和を図り、顧客の満足度向上させるとともに、オンラインチャットツールの導入により顧客のニーズに素早く対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランピングエリア整備</li> <li>・キャンプ場の再整備（オートサイトエリア整備、バンガロー改修等）</li> <li>・グリーンビレッジ美幌の模様替え</li> </ul> <p>なお、令和6年度は以下の内容を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設整備等の内容（設備整備・用地造成を除く） 【建築本体工事に向けた各種設計】 35,750千円</li> <li>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【解体実施設計】 8,360千円</li> <li>○効果促進事業（ソフト事業）の内容 【基本計画策定】 8,129千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額 (+102,883千円)</li> <li>②観光入込客数 (+23,317人)</li> <li>③美幌みどりの村一帯の宿泊者数 (+4,007人)</li> <li>④美幌みどりの村でのワーケーション利用件数 (+12件)</li> </ul>	関連URL	<a href="http://www.town.bihoro.hokkaido.jp">http://www.town.bihoro.hokkaido.jp</a>



# 事業概要【ふれあいらんど岩泉再整備事業】

拠点補正

申請者	岩手県岩泉町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	372,743千円
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	既存アウトドア施設にコテージやグランピング等を整備し、アウトドアを核とした岩泉町の魅力を活かしたアクティビティ等の体験型コンテンツや季節の地元食材を生かした料理の提供、地元酒蔵の地酒やクラフトビールの提供など上質な体験やサービスを提供し、交流人口の増加を図りたい。		
整備内容・利活用方策	<p>既存アウトドア施設を再整備し、通年にわたる誘客、滞在型観光の推進、キャンプ場利用者の更なる客層の取り込み、インバウンド需要の取り込みを図り、官民連携により自立した運営体制を導入する。敷地内にはWi-Fi環境を整備し、一般利用者のデジタル環境向上による利用促進やワーケーション、オンライン会議によるビジネス利用者に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コテージ、グランピング等整備費：257,630千円</li> <li>・センターハウス等改修費：67,854千円</li> <li>・オートキャンプ場区画変更等整備費：41,759千円</li> <li>・Wi-Fi設置費：5,500千円</li> </ul>		  
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI增加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+120,351千円）      ②施設売上額（+84,009千円）      ③施設利用者数（宿泊）（+3,195人）      ④町内観光入込客数（+89千人）</p>	関連URL	<a href="https://www.town.iwaizumi.lg.jp/">https://www.town.iwaizumi.lg.jp/</a>

# 事業概要【観光交流拠点施設「朝日自然観コテージ村」再整備による高付加価値化の創出と持続可能な滞在型観光推進事業】

拠点当初

申請者	山形県朝日町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	578,811千円 (140,221千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野
目的 (効果)	朝日自然観コテージ村を観光交流の拠点施設と位置づけ、多様化する観光ニーズへの対応と持続が可能な魅力ある施設に再整備し機能を強化していく。コテージ村エリア全体の高付加価値化と利便性の向上を図るとともに、町有観光交流3施設の連携をもとに町全体の活性化と交流人口の増加に取り組む。		
整備内容・利活用方策  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>朝日自然観敷地内及びその周辺において、食や自然を活かしたソフトプログラムを実施し、自然を満喫できる施設としてブランドイメージを構築し観光客の利用促進を図る。</p> <p>また、施設に多言語対応のタブレット型オーダー端末を配備し、インバウンド客の利便性向上や、従業員の業務効率化を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事】</p> <p>コテージSタイプ1棟模様替え工事 22,765千円 コテージAタイプ9棟実施設計 24,680千円 管理棟1棟新築工事 65,015千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容</p> <p>【外構工事】</p> <p>測量業務2,970千円、実施設計5,674千円 構内道路工事11,172千円、工事監理 945千円 既存コテージ解体工事7棟7,000千円</p>		   
KPI  ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額 (+71,000千円) ②観光交流3施設利用者数 (+65,000人) ③朝日自然観コテージの稼働率 (+16.0%) ④観光協会が実施するツアーの数 (+9回)</p>	関連URL	<a href="https://www.town.asahi.yamagata.jp">https://www.town.asahi.yamagata.jp</a>

# 事業概要【三春町キャンプ体験施設整備事業】

拠点補正

申請者	福島県三春町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	396,946千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	アウトドア環境整備としてユニットキャンプ施設を整備し、手軽な体験型観光を推進することにより、三春滝ザクラを中心とした春メインの観光産業から「通年型観光への転換」を目指す。また、三春町を拠点とした、登山エリアの周遊など人的交流や町内外の地域経済の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>ユニットキャンプは、手ぶらでも気軽に宿泊ができるための設備を常設したキャンプサイトであり、キャンプ初心者でも利用できる施設である。当町ならではのアウトドア観光を推進し、体験活動を通じてリピーターを増やすなど関係人口の増加に繋げることで、アウトドア・アクティビティという新たな観光産業を軸とした持続可能なまちづくりを目指す。Wi-Fiを整備することにより、観光客の利便性の向上を図る。また、デジタルサイネージで三春町出身の登山家「田部井淳子」氏を紹介し、登山客の宿泊地としてキャンプ場の活用につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニットキャンプ場 283,030千円</li> <li>・キャンプ場内道路等整備 99,000千円</li> <li>・登山家「田部井淳子」氏の映像制作、放映 5,016千円</li> <li>・キャンプ場Wi-Fi整備 9,900千円</li> </ul>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+600百万円） ②滝ザクラ開花時期を除いた観光入込客数（+120,000人） ③ユニットキャンプ場利用者数（+3,140人） ④ビジターセンター利用者数（+13,000人）		
関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) 調整中		

# 事業概要【観光交流施設整備によるにぎわい創出事業】

拠点当初

申請者	茨城県大子町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,164,976千円 (30,000千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	課題として、人口減少（2050年に▲60%）及び観光客減少により、消費販売額等が▲50%以上（20年前比）となっている。対策として、防災道の駅の機能拡張及び受入体制の強化により、地域特性を活かした賑わいの創出を図る。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>防災道の駅の拡張として観光交流施設を建築し、アウトドアブランドとの連携による地域特性（県内最高峰の山、一級河川、サイクリツーリズム等）を活かしたアウトドアアクティビティの創出・促進や、地域資源・特産品の販路拡大を図る。</p> <p>また、チャットボット等で一部の行政サービスを提供すること、町内で運行しているAIタクシーの発着点に指定することなどにより、来客の利便性向上を図る。</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 用地造成工事 30,000千円</p> 		
KPI  ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額 (+ 351,680千円) ②主要な観光スポットにおける観光客数 (+ 96,396人) ③主要な観光スポットにおける周遊客数 (+ 76,571人) ④道の駅（既存含む）における新規雇用者数 (+ 14人)</p>	関連URL	調整中

# 事業概要【南アルプス山麓の山村資源を活用した都市部からの誘客事業】

拠点補正

申請者	長野県松川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	119,815千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	既存の誘客及び交流施設である梅松苑のコテージ等を現在のニーズに沿った整備をし、リニア開通後とアフターコロナ時代における当町の過疎地域の特色でもある自然あふれる地域資源を強みとした体験コンテンツを展開することによる、当該地域の交流人口増加による過疎を脱却した、サステナブルな地域を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>梅松苑において、指定管理者、町DMO、当該地区住民と連携した地域資源や特色を活用したプログラム作成、プロモーションを展開し誘客促進を図る。</p> <p>また、Wi-Fi整備を行うことで、山間部におけるインターネット環境の充実させ、ライブ配信等による新たな客層の増加を図る。</p> <p>既存コテージの5棟の改修費：90,046千円 サウナ棟の設置費：25,356千円 キャンプサイト改修費：4,413千円</p>		
KPI	<p>①…地域における観光消費額（+39,000千円） ②…生田地区観光宿泊施設宿泊者数（+450人泊） ③…来訪者満足度調査における再来訪意向率（+25%） ④…社会増減数（▲14人）</p>		
※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	<p><a href="https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuriseisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html">https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuriseisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html</a></p>	

# 事業概要【山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業】

拠点補正

申請者	岐阜県山県市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	53,722千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市の北部地域において観光案内施設の整備、体験型アクティビティイベントの企画・運営、観光DXの推進、既存観光地の魅力度・収益アップを図り、北部地域を持続可能な観光地としての姿を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>施設において、市内観光・アウトドアに関する情報発信及び観光案内所としての事業展開をベースに、地域資源を活かした体験アクティビティ活動の企画・運営を実施し、地域住民も含めた地域にある観光資源、アウトドアフィールドの魅力を体感する機会を創出し観光振興の活性化を図る。</p> <p>また、デジタルサイネージの設置により、多言語で観光情報を配信することで、外国人観光客の受入環境の整備を図るとともに、デジタルサイネージの操作ログから利用者の行動を分析することで、観光客のニーズの把握にも活用する。</p> <p>【経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存建物解体工事費：4,937千円</li> <li>建築工事実施設計費：4,000千円</li> <li>施設建築工事費：44,785千円</li> </ul>		
KPI	<p>① 山県市アウトドアツーリズムセンターの来客者数 (+140,000人)</p> <p>② 体験型アクティビティの利用者数 (+1,400人)</p> <p>③ 市内観光入込数 (+102,000人)</p> <p>④ 市内の観光消費額 (+552百万円)</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.yamagata.gifu.jp/soshiki/kikaku/17692.html">https://www.city.yamagata.gifu.jp/soshiki/kikaku/17692.html</a></p>

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業】

拠点当初

申請者	岡山県矢掛町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,190,000千円 (85,000千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野
目的 (効果)	令和4年8月に国土交通省のかわまちづくり計画の登録を受け、町中心部を流れる小田川と隣接する歴史的町並みが残る重要伝統的建造物群エリアを一体的に活用した取組を進める。本町の観光の大きな柱である「やかげまるごと道の駅」エリアにアウトドアアクティビティ活動拠点を中心としたアウトドアエリアという新しい要素を整備することで、観光客数並びに観光消費額のさらなる増加を目指す。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>全国初となる販売や飲食の提供を行っていない「道の駅山陽道やかげ宿」の南に面した小田川を挟んで、国土交通省のかわまちづくり計画に登録されたエリア内にアウトドアアクティビティ拠点施設を整備し、町内のアウトドアアクティビティの情報発信、活動拠点とともに、道の駅には設置していない物販や飲食スペースを設けたりする等、やかげまるごと道の駅としての機能強化を図り、重要伝統的建造物群に指定された古い町並みとの融合により、新しい観光客層の獲得を目指す。</p> <p>施設の駐車場に自動判定による駐車場満空システムを導入し、交通整理員の配置の削減や周辺道路での渋滞の発生を抑制するほか、キャンプ場やレンタサイクルのオンライン予約システムの構築やキャッシュレス決済の導入などにより利便性の向上を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【実施設計】40,000千円</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成）の内容 【用地造成詳細設計】20,000千円 【用地造成工事】25,000千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額 (+2.7億円) ②年間観光入込客数 (+73.3千人) ③アクティビティ拠点施設への年間来場者数 (+73.3千人) ④若年層来場者数 (+36.65千人)</p>	関連URL	<a href="https://www.mlit.go.jp/river/kan/kyo/main/kankyou/machizukuri/map/chugoku/872510.html">https://www.mlit.go.jp/river/kan/kyo/main/kankyou/machizukuri/map/chugoku/872510.html</a>

申請者	岡山県鏡野町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	398,564千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本町の自然資源を最大限に活用し、観光をきっかけとする新たな経済循環の仕組みの構築を図るため、アウトドア企業の知見を取り入れながら、現在観光物産施設として利用している奥津湖総合案内所「みずの郷奥津湖」（特産品販売、飲食の提供）を、観光振興の拠点施設としてのビジターセンターへと改修するほか、新たにアウトドア関連物販施設の整備を行う。		
整備内容・利活用方策	<p><b>【整備内容・利活用方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鏡野町の奥津湖に、観光案内や飲食提供などが可能な多機能型のビジターセンター及びアウトドア商品などを取扱う物販施設を一体的に整備する。</li> <li>本町の観光に関するあらゆるサービスをワンストップで提供できる体制を確立する。また、電子決済の導入やオンライン会員証との連携により利用者の利便性向上を図る。さらに、湖畔カメラを設置し、リアルタイムかつ効果的なPRを行う。</li> </ul> <p><b>【事業費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジターセンター改修費 65,165千円</li> <li>物販施設整備費 315,700千円</li> <li>艇庫等整備費 17,699千円</li> </ul>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+275百万円） ②奥津湖VC来場者数（+61千人） ③奥津湖VC売上高（+73,290千円） ④奥津湖VCを起点又は中継点とする体験メニューの実施回数（+687回） ※VC…ビジターセンター	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） <a href="https://www.town.kagamino.lg.jp/soshiki/2/1985.html">https://www.town.kagamino.lg.jp/soshiki/2/1985.html</a>

# 事業概要【川原自然公園交流拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	宮崎県木城町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,277,869千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	川原自然公園を整備し、手つかずで残っている尾鈴山系・小丸川水系の自然やその空間の中でのアウトドア体験やワーケーション、各種自然体験、食の推進、健康増進、教育・子育て支援等様々なメニューを活用し、町内各施設の観光誘客の促進や滞在時間の延伸、移住や交流・関係人口の拡大、地域の消費拡大に効果的に寄与する施設として整備するとともに、観光消費額の引上げに結び付けていく。		
整備内容・利活用方策	<p>交流拠点施設兼総合案内所やコテージ、オートキャンプサイト、駐車場完備の芝生フリーサイト等を整備し、利便性向上を図るとともに、関係団体や地元農林商工業者と連携した特産品販売や観光PRを行う。また、園内全域Wi-Fiやオンライン予約システム、キャッシュレス決済対応レジを導入することにより利用者増及び売上向上を図り、地域内の消費拡大に寄与する施設とする。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く事業）  <b>【建築工事費】 1,019,809千円</b></p> <p>○効果促進事業（ハード事業）  <b>【外構整備工事等】 231,012千円</b></p> <p><b>【園内Wi-Fi整備、POSキャッシュレスレジ導入費】 27,048千円</b></p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①本町における地域全体での観光消費額（+45,367千円）  ②川原自然公園の収入（+22,719千円）  ③川原自然公園の利用者数（+8,000人）  ④町全体の観光客数（+32,000人）</p>		
	<p>関連URL</p>		(調整中)